

1. 認定資格名称：「豚部分肉製造マイスター」及び「牛部分肉製造マイスター」と称する。

2. 受検対象

- (1) 企業推薦者は原則として実務経験7年以上
- (2) ただし、職業能力開発促進法に定める普通職業訓練の普通課程食肉加工科の技能照査に合格した後、3年を超える実務経験がある者については、実務経験を1年間短縮する。

3. 講習会・試験の時期及び会場

(1) 講習会

時期：令和6年10月24日（木）～ 25日（金）

会場：全国食肉学校

(2) 試験

牛	学科	時期：令和7年1月15日（水）、会場：全国食肉学校（予定）
	実技	時期：令和7年1月15日（水）、会場：全国食肉学校（予定）
豚	学科	時期：令和7年1月16日（木）、会場：全国食肉学校
	実技	時期：令和7年1月17日（金）、会場：全国食肉学校

(注) 学科及び実技試験の開催時期は、会場等の都合により変更する場合がある。
牛試験については、申し込み状況により時期・会場を別に定める。

(3) 試験結果公表

「食肉処理製造技術（部分肉）資格認定委員会」の審査を経た後、所属企業を通じて受検者に通知する。

4. 試験科目

(1) 学科試験

豚肉又は牛肉に関して、それぞれ次の試験を行う。

- ① 食肉流通・肉畜の骨格と筋肉等基礎知識 ②取引規格 ③品質・衛生管理
④原価計算 ⑤食肉関連法規

なお、③、④の一部及び⑤は、豚肉及び牛肉で共通の試験とする。

また、①～③及び⑤の試験時間は40分間とし、④は60分間とする。

(2) 実技試験

豚部分肉製造又は牛部分肉製造に関して、作業者の衛生・安全管理面から服装・身体の清潔保持などに係る「基本姿勢」、「大分割」及び「部位別脱骨・整形」の試験を行う。

豚の試験材料は豚枝肉1頭分（左右枝肉）とし、試験時間は45分間とする。

ただし、試験時間内に作業が終了しない受検者については、試験時間を最大 15 分間延長するものとする。この場合、枝肉を大分割する時間は、この試験時間に含めない。

牛の試験材料は半丸枝肉（左または右枝肉）とし、試験時間は 60 分間とする。ただし、試験時間内に作業が終了しない受検者については、試験時間を最大 20 分間延長するものとする。この場合、半丸枝肉を大分割する時間は、この試験時間に含めない。

なお、試験材料の枝肉に個体差や瑕疵等、受検生の公平性を著しく欠くことが認められる場合、審査委員長は上記の規定にかかわらずその是正措置を講ずることができるものとする。

(3) 前年度に実技試験に合格し学科試験の全部または一部の学科のみ不合格の者は、当該不合格学科のみを受検するものとする。

また、前年度に学科試験の全部の学科に合格し実技試験のみ不合格の者は、実技試験のみ受検するものとする。

(4) 豚部分肉製造マイスターの資格を既に保有している者が、今年度に牛部分肉製造マイスター資格認定試験を受検する場合(又はその逆の場合)には、(1)の学科試験のうち、③～⑤の学科の受検を免除し、当該受検に係る品目(牛肉又は豚肉)の①及び②の学科及び実技試験を受検すること。

(5) 同一受検者が同一年度に豚肉及び牛肉の両方の資格認定試験を一括で受検することはできない。

5. 合格基準

(1) 学科試験

1 科目 100 点満点とし、各科目最低 60 点以上で全科目平均 70 点以上

(2) 技能試験

① 豚は 120 点満点とし、96 点以上（80%以上）の評価

なお、脱骨・整形に要した時間については減点方式を採用し、試験開始から 45 分間以内で終了した場合は減点なし、試験時間を延長した場合は 1 分ごとに 1 点を減点し、最大 15 分間の延長で 15 点を減点する。

② 牛は 210 点満点とし、168 点以上（80%以上）の評価

なお、脱骨・整形に要した時間については減点方式を採用し、試験開始から 60 分間以内で終了した場合は減点なし、試験時間を延長した場合は 1 分ごとに 1 点を減点し、最大 20 分間の延長で 20 点を減点する。

(3) 学科試験及び技能試験の両方の合格者を資格認定者とする。

6. 受検手続

(1) 願書 様式：別紙による。

受付：令和 6 年 7 月 1 日(月)～ 8 月 30 日(金) (8 月 30 日の消印有効)

(2) 願書送付先：

〒370-1103 群馬県佐波郡玉村町大字樋越 1794

公益社団法人全国食肉学校 総務部

TEL：0270-65-2571

7. 費用

- (1) 受検料 110,000 円（講習会費用を含む。）
ただし、前年度に受検し、今年度に再受検する場合の受検料は次のとおり。
学科試験：1 学科につき 11,000 円 実技試験：55,000 円
- (2) 4の(4)により受検する場合には、(1)にかかわらず、当該受検に係る品目の2学科試験及び実技試験の受検料：77,000 円
- (3) 認定証交付費用：11,000 円

8. 振込先等

- (1) 受検願書提出時
受検料（7の(1)又は(2)に定める額）
- (2) 合格通知後
認定証交付費用（7の(3)に定める額）
- (3) 金融機関名：群馬銀行玉村支店
口座名・番号：公益社団法人全国食肉学校研修会口座 普通預金 0769989

9. その他

講習会、試験の詳細については、別途所属企業を通じて受検者に通知する。

様式1（企業推薦の場合はこの推薦書を添付して出願のこと）

令和 年 月 日

公益社団法人全国食肉学校 学校長 殿

住 所

法人名

印

令和6年度食肉処理製造技術（部分肉マイスター）資格認定試験に係る推薦書

当社は、下記の者を本年度の食肉処理製造技術（部分肉マイスター）資格認定試験を受検させることとしたので推薦します。

畜種 区分	氏 名	所 属	勤務年数（複数の企業を経験している場合は通算年数）
豚			
牛			

企業推薦の場合の担当者：

所属： _____

名前： _____

TEL： _____

FAX： _____

E-mail： _____

注：「願書」の「名前のローマ字表記」は、合格した際、マイスターワッペンに使用します。

☞「ヘボン式ローマ字」で記載して下さい。【見本】

さ	SA	し	SHI	す	SU	せ	SE	そ	SO
た	TA	ち	CHI	つ	TSU	て	TE	と	TO
は	HA	ひ	HI	ふ	FU	へ	HE	ほ	HO
ざ	ZA	じ	JII	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ	DA	ぢ	JII	づ	ZU	で	DE	ど	DO

様式 2 - 1 (豚部分肉マイスター用)

令和 6 年度

食肉処理製造技術 (豚部分肉マイスター) 資格認定試験願書

令和 年 月 日

公益社団法人全国食肉学校 学校長 殿

私は、食肉処理製造技術 (豚部分肉マイスター) 資格認定試験を受検したいので
お願いいたします。

- 受検希望科目： 1 学科試験 (全 5 学科) 及び実技試験
2 学科試験のみ (一部学科 (科目名：))
3 学科試験 (一部学科 (科目名：)) 及び実技試験
4 実技試験のみ

(1 から 4 のいずれか該当する番号をマルで囲んでください。1 は新規受検の場合、3 は再
受検の者又は牛部分肉マイスター資格を保有する者、2 及び 4 は再受検する者の場合です)

(ふりがな)

氏 名 _____ 印 _____

名前のローマ字表記 (名) _____ (姓) _____

(ふりがな)

現 住 所 _____

(郵便番号 _____) (電話番号 _____)

(F A X 番号 _____)

(ふりがな)

合格通知先 _____

(郵便番号 _____) (電話番号 _____)

(F A X 番号 _____)

写真
(おおむね 40 mm
× 30 mm)

生年月日	昭和・平成 年 月 日生			年齢 歳
主な職歴 (簡潔に記載。技能照 査合格者はその年月 も記載)	年号	年	月	職 歴
現在の勤務先	採用年月日			昭和・平成・令和 年 月 日
	勤務先名			
	所属部署			
	担当業務			
	勤務先電話・FAX番号			電話 _____ FAX _____

- (注) 1 出願者本人が記入すること。
2 黒ボールペンではっきり記入すること。

様式2-2 (牛部分肉マイスター用)

令和6年度

食肉処理製造技術 (牛部分肉マイスター) 資格認定試験願書

令和 年 月 日

公益社団法人全国食肉学校 学校長 殿

私は、食肉処理製造技術 (牛部分肉マイスター) 資格認定試験を受検したいので
お願いいたします。

- 受検希望科目： 1 学科試験 (全5学科) 及び実技試験
2 学科試験のみ (一部学科 (科目名：))
3 学科試験 (一部学科 (科目名：)) 及び実技試験
4 実技試験のみ

(1 から 4 のいずれか該当する番号をマルで囲んでください。1 は新規受検の場合、3 は再
受検の者又は豚部分肉マイスター資格を保有する者、2 及び 4 は再受検する者の場合です)

(ふりがな)

氏 名 _____ 印 _____
名前のローマ字表記 (名) _____ (姓) _____

(ふりがな)

現 住 所 _____
(郵便番号 _____) (電話番号 _____)
(FAX番号 _____)

(ふりがな)

合格通知先 _____
(郵便番号 _____) (電話番号 _____)
(FAX番号 _____)

写真
(おおむね 40 mm
× 30 mm)

生年月日	昭和・平成 年 月 日生			年齢 歳
主な職歴 (簡潔に記載。技能照 査合格者はその年月 も記載)	年号	年	月	職 歴
現在の勤務先	採用年月日			昭和・平成・令和 年 月 日
	勤務先名			
	所属部署			
	担当業務			
	勤務先電話・FAX番号			電話 FAX

- (注) 1 出願者本人が記入すること。
2 黒ボールペンではっきり記入すること。